

# 日本食肉加工情報

毎月1回発行

# 2

2025 FEB.

No.896

## CONTENTS

### ●特集

ハム・ソーセージ類JASの見直しと  
食品表示基準等の改正について

### ●窓

第111回 日本羊腸輸入組合 理事 佐藤 和統 氏  
(ナチュラル・インターナショナル株式会社 代表取締役社長)  
「発注依頼計画書」

### ●業界をめぐる動き

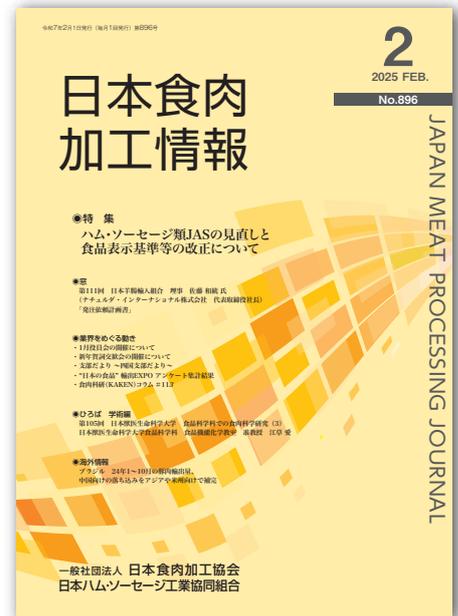
- ・1月役員会の開催について
- ・新年賀詞交歓会の開催について
- ・支部だより～四国支部だより～
- ・“日本の食品”輸出 EXPO アンケート集計結果
- ・食肉科研(KAKEN) コラム #113

### ●ひろば

第105回 日本獣医生命科学大学 食品科学科での食肉科学研究(3)  
日本獣医生命科学大学食品科学科 食品機能化学教室 准教授 江草 愛

### ●海外情報

ブラジル 24年1～10月の豚肉輸出量、  
中国向けの落ち込みをアジアや米州向けで補完



内容をちよっと読み



SPECIAL  
EDITION

## 特集

### ハム・ソーセージ類JASの見直しと食品表示基準等の改正について

松永 孝光 一般社団法人日本食肉加工協会 管理部

#### 1. ハム・ソーセージ類 JAS の見直しについて

平成 29 年 6 月、日本農林規格等に関する法律（昭和 25 年法律第 175 号、以下「JAS 法」という。）の改正により、従来の国主導の体制から、事業者（業界団体）主導の体制に移行した。

日本農林規格（以下「JAS」という。）の見直しは、JAS 法に基づき 5 年毎に行うこととされ、前回の見直し時期（平成 30 年時）は時間的制約から期限までに結論を得ることができず、継続検討事項としてきた項目を含め、今回の見直し時（令和 6 年 8 月期限）に検討することとしたものである。

#### 2. JAS の見直しに係る事前協議

ハム・ソーセージ類 JAS の見直しを要望するに当たり、農林水産省の定めた「JAS 原案作成マニュアル」（以下「マニュアル」という。）に沿って、（独法）農林水産消費安全技術センター（以下「FAMIC」という。）及び農林水産省大臣官房 新事業・食料産業部 食品製造課 基準認証室（以下「JAS 室」という。）と事前協議を行い、当業界で継続検討事項となっていた 3 項目に、FAMIC から示唆のあった 1 項目を加えた 4 項目に絞り込み、プロジェクトチーム会議に諮ることとした。

続きは定期購読で！

### 定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp